

災害発生時の避難所における 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症が蔓延する状況において災害が発生し、避難所を開設する場合には、感染症対策に万全を期すことが重要です。

また、災害時には断水によって手指の流水洗浄ができない可能性があること、避難所など密集した環境下での集団生活によって新型コロナウイルスなどの感染が拡大するリスクが高まるのが想定されます。

新型コロナウイルスが終息する前に地震、風水害が起きたらどうなるのか、平時の事前準備や災害時の対応を考えておきましょう。

「避難」とは「難」を「避」けることであり、自宅での安全確保が可能な人は、感染リスクを負ってまで避難所に行く必要はありません。

本当に避難所に行く必要がある方を、避難所で適切に受け入れられるようご協力ください。自宅が危険な場合も、避難先は市指定の避難所だけではありません。安全な親戚・知人宅に避難することも考えておきましょう。

①香取市総合 防災マップで 自宅を確認



②本当に避難所 に避難する必要があるか確認

風水害時の避難の必要性を裏面のフローで確認

※遠くの親戚や知人の家に避難する場合は、避難途中で災害に遭わないよう、警戒レベル3を待たずに早めの避難を完了させましょう。

③避難するとき

市の備蓄品には限りがあります。自分の必要な物は自分で持参しましょう。

体温計、常備薬、日用品、食料、水、スリッパ、マスク(鼻と口を押える大きさの対ル、手ぬぐい)、アルコール消毒液(ウエットティッシュ)、その他、総合防災マップの57頁を確認

避難する前に健康状態を確認し、せきや発熱、倦怠感、嗅覚・味覚に異常がある場合は必ず申出ください。



④避難所では

○マイカー避難

避難所での感染リスクを軽減するため、可能な限り駐車場でのマイカー避難をお願いします。

○手洗い、せきエチケットなどの基本的な対策の徹底

断水などの影響がない場合、頻繁に手洗いするとともに、せきエチケットなどの基本的な感染対策を徹底しましょう。

○避難所の衛生環境の確保

避難所内の物品などは、家庭用洗剤を用いて清掃するなど、避難所の衛生環境をできる限り整えるようご協力ください。

○十分な換気の実施、スペースの確保

市は避難所内での十分な換気に努めるとともに、避難者が十分なスペースを確保できるよう留意します。避難者の方々にも換気の協力と、本当に避難が必要な方が避難所に行けるよう配慮をお願いいたします。

○発熱などの症状が出た方の専用スペース確保

発熱、せきなどの症状が出た方は、専用スペースや専用トイレを確保するように努めます。

一般の避難者とはゾーン、動線を分けますのでご協力ください。



今のうちに、自宅が安全かどうかを 総合防災マップと 下のフローで確認しましょう！

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。

避難行動判定フロー

スタート！

あなたがとるべき避難行動は？

総合防災マップ※で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

※総合防災マップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市区町村からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として※、自宅の外に避難が必要です。

例外

※浸水の危険があっても、
①洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれの高い区域の外側である
②浸水する深さよりも高いところにいる
③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある場合は**自宅に留まり安全確保することも可能です。**

※土砂災害の危険があっても、十分堅牢なマンション等の上層階に住んでいる場合は**自宅に留まり安全確保することも可能です。**

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル3が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル3が出たら、市区町村が指定している**指定緊急避難場所**に避難しましょう

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル4が出たら、**安全な親戚や知人宅に避難**しましょう(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル4が出たら、市区町村が指定している**指定緊急避難場所**に避難しましょう